

公益財団法人不老会会員の皆様へ

当講座では、下記の医学系研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	機械学習を用いた医用画像処理技術の研究開発
研究機関の長( 試料・情報の管理責任者 )	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	( 所属 ) 解剖学講座 ( 職名 ) 講師 ( 氏名 ) 大塚俊
研究の対象となる方	倫理審査承認日から 2027 年 12 月 31 日までに医学教育に使用される御献体
研究期間	研究実施承認日 ~ 2028 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 本研究では、解剖体を用いて人体の内部構造画像を取得し、画像内の構造物について、複数の機械学習を用いた新たなアルゴリズムを提案することで、複数構造物の自動領域抽出およびラベル推定が可能な医用システムの開発を目指します。 〔利用方法〕 人体の内部構造を撮影した二次元画像に対して、自動的に特定構造物( 臓器や血管など ) の抽出およびラベル( 名前 ) を推定できれば、腹腔鏡手術におけるモニター内画像を利用した手術支援や、コンピュータを利用した解剖実習支援ツールの開発に繋がることを期待されます。 〔外部への試料・情報の提供〕 「非該当」 〔外部への提供開始日〕 「非該当」
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：【御献体】 情報：【年齢・性別・献体登録時の情報等を収集】
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	「非該当」
試料・情報を利用する学外の者	「非該当」
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ

場合	対応可能です。
外国への試料・情報の提供	「非該当」
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 解剖学講座 担当者：講師 大塚俊 電話 0561-62-3311 (内線 12256)